

麦類赤かび病の防除について

過去3年間、赤かび病の発生量は平年に比べ高い状態が続いていることから、ほ場における本病原菌の密度も高まっていると予想されます（病害虫情報第1号にて報告済）。5月中旬以降に本病原菌の子のう殻形成好適日が頻発することにより、デオキシニバレノール（DON）が高い値になる場合があります（平成23年および令和3年、下表参照）。

気温が高く降雨が続く場合、本病原菌の子のう殻形成に好適な条件となる恐れがありますので、過去に赤かび病の発生が確認されたほ場では、2回目防除の7～10日後頃に3回目防除を検討してください。

表 4月から5月までの麦類赤かび病感染好適条件出現状況

4月								5月									
日付	R08		R06		R03		H23		日付	R08		R06		R03		H23	
	子のう殻形成	子のう胞子飛散	子のう殻形成	子のう胞子飛散	子のう殻形成	子のう胞子飛散	子のう殻形成	子のう胞子飛散		子のう殻形成	子のう胞子飛散	子のう殻形成	子のう胞子飛散	子のう殻形成	子のう胞子飛散	子のう殻形成	子のう胞子飛散
1	●	▲							1	●	◎	●	◎	●	◎	●	◎
2	●	▲				△			2	●	◎	●	◎	●	◎	●	◎
3	●	▲		◎					3	●	◎	△		●	▲		△
4	●	◎	●	◎	●	◎			4	●	◎		△				
5	●	◎	●	▲	●	◎			5	●	▲		△	●	◎		△
6	●	◎		△		▲			6		△	●	◎	●	◎		△
7				△	●	◎			7		△	●	◎	●	◎		△
8			●	◎	●	▲	●	◎	8	●	◎	●	◎	●	◎		△
9	●	▲	●	▲			●	◎	9	●	◎		△	●	◎		△
10	●	◎		▲			●	▲	10		△			●	◎	●	◎
11	●	◎		△					11		△		△		△	●	◎
12		△		△					12			●	◎	●	◎	●	◎
13		△		△	●	◎			13			●	◎	●	◎	●	◎
14		△		△	●	▲			14			●	▲		△	●	◎
15	●	◎		△		▲	●	◎	15			●	◎		△		△
16	●	◎	●	◎	●	◎	●	▲	16			●	◎	●	◎		△
17		△	●	◎	●	▲			17			●	◎	●	◎		△
18		△		△		▲	●	▲	18				△	●	◎		△
19		△		△	●	▲		▲	19			●	◎	●	◎		△
20		△		△				▲	20			●	◎	●	◎		△
21	●	◎	●	◎		△	●	▲	21			●	◎	●	◎		△
22	●	▲	●	◎			●	◎	22				△	●	◎	●	◎
23	●	◎	●	◎		△	●	▲	23				△		△	●	◎
24	●	◎	●	◎		△		▲	24				△	●	◎	●	◎
25		△	●	◎		△		▲	25				△	●	◎	●	◎
26	●	◎	●	◎				▲	26				△		△	●	◎
27	●	◎		△			●	◎	27			●	◎	●	◎	●	◎
28	●	◎		△	●	◎	●	▲	28			●	◎	●	◎	●	◎
29		△	●	◎	●	◎		▲	29					△		●	◎
30	●	◎	●	◎	●	◎	●	▲	30			●	◎		△	●	◎
									31			●	◎		△	●	◎

※岐阜市基準（岐阜気象台調べ）

1) 子のう殻形成好適日

●：降雨直後（当日及び翌日）かつ平均気温が13℃以上であった日

2) 子のう胞子飛散好適日

◎：濡れ条件と温度条件を両方満たした日

▲：濡れ条件のみを満たした日

△：温度条件のみを満たした日

※ 濡れ条件：降雨直後（当日または翌日）または湿度が80%以上

温度条件：最高気温が15℃以上かつ最低気温が10℃以上

※ 平成23年、および令和3年は麦類赤かび病の発生が多く、県内で高値のDONが確認された年、令和6年は多発年。

※ 令和8年度のデータは5月11日まで

- 農薬の使用にあたっては、最新の登録内容を確認し、適正に使用してください。
農薬登録情報提供システム
<https://pesticide.maff.go.jp/>
- 当所のホームページに発生予察情報、病害虫調査データなどを掲載していますのでご活用ください。
岐阜県病害虫防除所
<https://www.pref.gifu.lg.jp/soshiki/24321/>